

特別講演会

主催：先導物質化学研究所

共催：精密有機合成化学リサーチコア

題目：不斉自己触媒反応と不斉の起源

講師：碓合 憲三 教授

(東京理科大学理学部)

(九州大学先導物質化学研究所客員教授)

日時：2005年12月12日(月)午後3時30分より

場所：理学部化学第1講義室(2号館3階2349室)

碓合先生は新規不斉反応の開発と、その機構的な研究を積極的に進められておられる世界的にも著名な研究者です。特に極めて低い光学純度のキラル源、あるいは円偏光のキラリティーを利用し、最終的に高光学純度の生成物を生み出す「不斉自己触媒反応」は、不斉合成および生命科学の分野に大きなインパクトを与えました。今回、この「不斉自己触媒反応」について、最新の結果を含めた総括的なお話をしていただく予定です。

多数ご来聴くださいますよう案内申し上げます。

要旨：キラルなピリミジルアルカノールが自己を生成する触媒として作用し、極微小不斉から極めて高い鏡像体過剰率に至る不斉自己触媒反応を見出した。不斉の起源とされてきた円偏光などを用いて、不斉自己触媒反応と組み合わせることにより、高鏡像体過剰率のキラル化合物を不斉合成することが出来た。

連絡先：

九州大学先導物質化学研究所

稲永純二 (電話 642-2733、inanaga@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp)

古野裕史 (電話 642-2734、furuno@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp)